

月刊 かわごえ環境ネット

2017年3月号 No.125

<http://kawagoekankyo.net>

2017年3月4日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

かわごえ環境フォーラム（速報）



午前の部：環境活動報告会



午後の部：川越市環境行動計画策定記念講演会
2月25日（土）開催の速報です（詳細4面）

桜の季節



上戸日枝神社のソメイヨシノ（2016年4月撮影）



おいせ橋通りのソメイヨシノ（2016年4月撮影）

3月下旬からソメイヨシノ、ヤマザクラ、4月中旬にはウワミズザクラ、イヌザクラなど、さまざまな桜が開花します。前者は街路樹、公園や寺社に、後者は雑木林に桜を見に行きませんか？

目次

コラム	私のエコ体験（9）台所からのごみを減らす.....	2
	川越の自然を訪ねて（51）最近の野鳥事情.....	3
報告	第15回かわごえ環境フォーラム（速報）.....	4
	会員・流域の活動（4題）.....	5-8
	理事会・専門委員会（3題）.....	8-9
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事（3題）.....	9-10
	会員・関係団体の主催・関連行事（8題）.....	10-12
	広報委員会からのお知らせ.....	12-13
	イベントカレンダー（3月5日～4月26日）.....	14

【コラム】私のエコ体験 (9) 台所からのごみを減らす

環境やエコとは生活すべてに及びますが、家庭の中、特に台所を預かる主婦の立場から、毎日の食事作りの際に出る生ごみを、ごみにしないように努力していることを今一度記したいと思います。

市の焼却場に出した水分量が90%近くある野菜くずが燃えるには、まずこの水分を蒸発させてから燃え出すこととなります。家庭で乾燥させてから出せば、重油の使用量は格段に減るはずですが、さらに、ごみに出さずに土に戻してしまえば、リサイクルの輪ができあがります。肥料効果も期待でき、きれいな花やおいしい野菜もできるはずですが。

私が実践しているやり方を簡単に書いてみます。

1) 乾燥する

果物の皮や、庭の木の剪定の枝など

①ミカンの皮には油分が含まれているので、堆肥になりにくい。縁側などの日当りのよい所でカラカラに干してからごみに出す。バナナの皮は農薬が心配なので、堆肥に入れないで干してから出しています。

②庭の樹を剪定した時は、2か月ぐらい放置した後、乾燥した枝は小さく折ってごみとして出し、枯れた葉はたい肥に入れる。

2) 堆肥にして土に還す

生ごみは水分が多いので、落ち葉、乾燥した腐葉土、米ぬかを利用する。

①コンポスト法

庭にコンポストを浅く埋めて、中に乾燥した



コンポストで処理した生ごみ



生ごみに使う EM ポカシ



落ち葉と腐葉土入れて生ごみ処理

落ち葉をたっぷり敷き、生ごみに米ぬかをまぶして混ぜ込む。さらに腐葉土や、土も入れて混ぜる。しっかり押さえる。これを繰り返す。

②ぼかし法：醗酵促進剤（ボカシ）を使う

専用の密閉バケツで生ごみにボカシをふりかけ、混ぜ合わせ、バケツいっぱいになるまで繰り返してぼかし肥あえを作る。いっぱいになったら1週間ほど太陽の当たらない所に置いて熟成させると、生ごみの外観は変わらないが水分は抜けている。このぼかし肥和えを土に埋める（コンポストでもよい）と堆肥になる。

（植物を植える場合は、1か月後から）

③ダンボール法

みかん箱の底に新聞紙を敷き、腐葉土 18L、米ぬか 6L をよく混ぜ、20cm の床を作る。生ごみは細かく切って、1 kg ぐらいたまったら、床の左半分に穴を掘り、生ごみと米ぬかを埋め、よく混ぜる。次に生ごみがたまったら床の右半分に埋めることを繰り返します。30日経てばダンボールの下を切って堆肥の一部を取り出すことができます。

うまく堆肥化出来るかどうかは、水分調節がカギです。これらのどれを利用するかは、その時の気分ですが、夏場はぼかし法が台所の足元にバケツを置いて、すぐぼかし和えにしてふたをすれば、コバエの発生を抑えられるので、いいと思います。

以上、日々の営みの基本をエコ第一に考えながら過ごしている一端を記しました。

(浜尾春子)

【コラム】川越の自然を訪ねて (51) 最近の野鳥事情



今福雑木林のカケス

この原稿を書くに当たって野鳥の観察を思い立ちました。今に始まったことではありませんが、野鳥が最近減っていることは誰もが感じていることです。我が家の庭に訪れるシジュウカラやメジロ、ウグイスが少なくなりました。30年ぐらい前の観察経験を念頭に置きながら、近くで野鳥の様子を観察してみました。野鳥の数が減るといことは、種類数の減少と個体数の減少の2つが考えられます。以下は2日間の午前中の記録です。注：下線で示したものはこの地域では冬鳥として飛来しているもの、()の数字は数を表し、ないものは複数。

(1) 2017年2月14日(火)

観察時間帯：10:30-14:00 (3時間30分)

場所：不老川沿い「山田橋」→「狭山市・現橋」
(流域距離約2km)

確認種：アトリ (1群6)、シメ (1)、ジョウビタキ (♂1)、ツグミ、カワウ (1飛翔)、カワラヒワ、カワセミ (1飛翔)、キジバト、キセキレイ (1)、シジュウカラ、スズメ、セグロセキレイ (1)、ダイサギ (1)、ハクセキレイ、ハシブトガラス (2)、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、ムクドリ、以上19種

まとめ：陸鳥(留鳥)：10種、水鳥(留鳥)：5種、渡り鳥の冬鳥：5種、計19種。

感想：不老川の留鳥は、種類数は昔と大きな違いは感じなかったが、スズメ、ヒヨドリ、カワラヒワなどに個体数が少ない印象を受けた。流域は畑作地帯で木々は少ないが、水を求めて集まりやすい場所であるので、注意深く観察すれ

ばまだみつかるのではないかと。

注：アトリはここでは珍しいが今年は当たり年のようで、他地でも確認情報が多い。タヒバリ(セキレイの仲間、冬鳥)は、今回は確認できなかったが、昔は冬の常連客であった。

(2) 2017年2月15日(水)

観察時間帯：7:30-10:00 (2時間30分)

場所：今福雑木林(仮称川越市森林公園計画地)

確認種：アトリ (10数)、シロハラ、ツグミ、トラツグミ (1)、ビンズイ (6)、ルリビタキ、アオゲラ (1)、エナガ、カケス (1)、カワラヒワ、キジバト、コゲラ、シジュウカラ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、メジロ、ヤマガラ (1)

まとめ：陸鳥(留鳥)：14種、渡り鳥の冬鳥：6種、計20種。

感想：野鳥が減少したと感じているのは、種類数ではなく個体数の減少であることがわかる。留鳥のシジュウカラ、コゲラ、ヒヨドリの減少が特に目立つ。一方、この季節はカラスが少ないが、そのせいかキジバトが多いように感じた。冬鳥のアトリは珍しい。ビンズイ、トラツグミは、昔はよく見られたが近年では珍しい。またカシラダカ、アオジなどは冬鳥の常連であったが、最近では確認情報を聞かない。また留鳥のウグイス、モズ、イカルなどの情報もひじょうに少ない。

結び：以上は私の個人的な観察と感想であります。ことに不老川については狭い範囲(今回は下流のカモ類の範囲は対象外)であり、傾向を見ようとしたものでしたのでご了解ください。

野鳥の観察を通して自然度を推し量る指標とするには当会なりのデータを残しておかなければならないと思います(既存の活動を利用することで可能)。野鳥が激減したことは観察をしなくともよいということではないはずですが、忘れかけていた体制を少し整えればよいだけです。そのような反省に至った今回のミニ野鳥観察ではありました。これから夏鳥たちもやって来ます。
(稗島英憲)

【報告】第15回かわごえ環境フォーラム（速報）



配布した「かわごえ環境活動報告集」



ふくはら子どもエコクラブの発表



かわごえ里山イニシアチブの発表



午後の部川合善明川越市長のあいさつ



箕輪信一郎環境部副部長の講演



小瀬理事長 川越市環境行動計画講演



原村政樹監督の基調講演



飯島希理事と原村政樹監督の対談



協賛団体のポスターとパンフレット

2003年より毎年開催され、今回で15回目となる「かわごえ環境フォーラム」が、ウェスタ川越（午前の部：南公民館講座室1・2号、午後の部：多目的ホールC・D）で開催され、延べ150名程度の参加者が来場しました。

詳細は本紙4月号で掲載いたしますが、速報として写真でイベントの状況をお伝えします。

午前の部「環境活動報告会」は、11名から環境活動報告がありました。午後の部「川越市環境行動計画策定記念講演会」は、川合善明川越市長の挨拶の後、箕輪信一郎川越市環境部副部長による「第三次川越市環境基本計画」に関する説明、私（小瀬理事長）による「川越市環境行動計画」に関する説明とチェックシートの実施を行いました。そして、現在、本年秋に完成を予定している映画「武蔵野」（仮題）を製作し

ている原村政樹監督の「川越の魅力を知る-雑木林からの発信-」の基調講演があり、司会を務めた本会の飯島希理事と原村監督との対談を行いました。

また、両会場において、本会と協賛団体5社のパネル展示・パンフレット配布がありました。

川越市の環境活動に関する情報を共有することを目的としたこのイベントも15年が経過しましたが、さまざまな結びつきを生み出しています。来年も開催する予定で計画を立てますので、ぜひご参加ください。

この場を借りて、パイオニア株式会社、武州ガス株式会社、株式会社環境総合研究所、川木建設株式会社、第一生命保険株式会社川越支社に御礼申し上げます。（小瀬博之）

【報告】 会員・流域の活動

田んぼの生物多様性向上 10年プロジェクト全国集会（2月18日）

～環境と経済のひびき合う*初雁の里を目指して～

かわごえ里山イニシアチブ



会場の様子

2017年2月18日に「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト全国集会 in 川越～生きもの育み雁の舞う里山・街づくり～」と題した催しが開催されました。日本各地からのすばらしい生きものや環境にやさしい取り組みを学び合い、かわごえ里山イニシアチブからは、活動報告と「初雁の里」と名付けた新しいまちづくりと観光のご提案をしました。

この催しは、湿地を通して生きものを豊かにする活動を推奨しているラムサール・ネットワーク日本と本会が共催で、本会が例年開催している田んぼフォーラムの第3回目にあたる2017年版と兼ねて開催されました。当日は予想を遥かに越えた150名近くの方がご来場くださいました。

午前中は第1部、エクスカージョン(小旅行)と称して、松本醤油、鏡山酒造、川越まつり会館、初雁城と初雁の杉、お米マイスターの金子商店など、川越の特徴的な文化や歴史を感じられるところと、本会の活動拠点の高梨農園をバスで回りました。川越在住の方でさえも初めて足を踏み入れたという場所もあり、一歩踏み込んだ川越の魅力を知ることができたと好評でした。

午後はウェスタ川越に移り、第2部として日本各地からの発表がありました。はじめにラムサール・ネットワーク日本の共同代表の呉地正行さんが「田んぼ10年プロジェクトとは」についてお話し、その中で川越と雁がとても

縁があることを知りました。初雁城、雁見橋、初雁の杉・・・みなさん、今度川越で『初雁』と名のつくところや物を見つけてみてくださいね。いくつ見つかるでしょう(#^^#)

千葉県いすみ市からは、コウノトリが戻ってくるような稲作に感銘を受けた太田洋市長自らが有機稲作を推進し、学校給食にもそのお米を取り入れ、ついに「いすみっ子」と名付けたブランド米に成長。JALのファーストクラスで振舞われるほどになり、さらに、環境にやさしく子どもたちに安心して食べてもらえるさまざまな農産物のブランド化が進んでいる報告がありました。



「CO江戸 かわごえ 初雁の里」ロゴマーク



着物姿とロゴとのぼり

この後、本会が『生きものを育む田んぼプロジェクト』の活動報告と今後の課題について発表しました。雁が戻ってくるような生態系豊かな田園風景を残したい、そしてそのような持続可能な文化や生活を学び、実践しながらも経済の両立する新たな体験型観光スポットとして「初雁の里」を提案、蔵の街並みや雁に縁のある川越スポットと連携させてみなさんと一緒に子供たちに残せる環境、まちづくりをしていきたいと決意表明をいたしました。催しのシンボルマークの雁のロゴの上下には「CO 江戸かわごえ*初雁の里」という文字を入れました。CO 江戸のCOは「cooperate /協力する、決まった目標にたいして一緒に働く」の頭をつけ、持続循環可能な未来に渡してゆける街づくりへの想いを込めました。その他、日本各地からの興味深い発表の模様を含めこの催しの詳細をカワゴエ・マス・メディアの白井紀行さんが、写真と臨場感あふれる文章で数回に分けて綴って下さいました。一見の価値がありますのでぜひ、ご覧くださいませ。

(<http://koedo.info/170220tanbo10/>)

みなさんのお力添えをいただき、無事にこの催しを開催できたことにたいへん感謝しております。この日を新たな地域づくりの第一歩としてご縁をいただいたみなさまとともに手を取り

合って、着実に一步ずつ、本当の豊かさや文化、生きものとしての営みを継続してゆけるまちづくりに繋がりたいと思います。最後になりますが、私たちの農法は除草剤を使用しない代わりにある一定の期間、田んぼの水嵩を7cmに保つことが必要になります。2015、2016年、ともにモデル田んぼでは大成功でした。しかしながら、昨年新たに始めた4反の田んぼでは、取水源となる入間川の渇水のため、十分な水が得られず、残念ながらイヌビエがはびこり、稲の生育を阻害してしまいました。今後の課題の一つとして、この有機農法での安定したお米作りを継続するにあたり、井戸水の確保が緊急課題になっております。3~4月にかけてクラウドファンディングで応援を募る予定です。ご賛同いただける方は、かわごえ里山イニシアチブホームページをご覧ください。事務局にご連絡ください。

さて、3月18日(土)は、いよいよ今年の有機稲作ポイント研修の第1回目、4月22日(土)は2回目です。みなさま、「初雁の里」でご参加をお待ちしています。

ホームページ

<http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

事務局メールアドレス

kawagoesatoyama@gmail.com

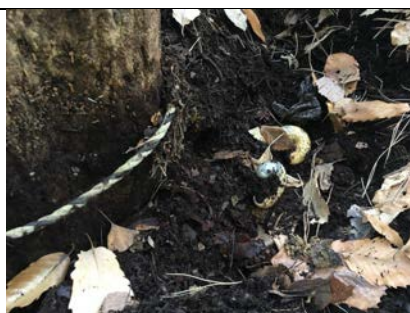
(柏井喜代恵)

2016年度の活動が終了

こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)



自然再生エリアに伐採木のチップをウッドチップパーを使って散布



落ち葉溜めの掘り返しは、カブトムシの幼虫救出作戦となりました

工区	2001年 +2002年	2008年 12月	2013年 12月	2016年 +2017年	2013年 からの 増減	2013年か らの増減 割合
A	1,097	934	907	966	+ 59	106.5%
B	716	604	530	382	- 148	72.1%
C	265	287	165	163	- 2	98.8%
D	364	263	194	184	- 10	94.8%
E	367	336	266	222	- 44	83.5%
F	485	450	342	388	+ 46	113.5%
G・H	2,194	2,130	2,020	1,510	- 510	74.8%
合計	5,488	5,004	4,424	3,815	- 609	86.2%

毎木調査のエリアごとの結果推移 (胸高直径3cm以上の本数)

2013年から約14%減少、2001年からは約30%減少

東洋大学川越キャンパスで管理放棄されていた林を生物多様性豊かな里山にする活動を3年間進めてまいりましたが、今年度の活動を2月

19日(日)をもって終了しました。

4月より新たな体制で取り組みます。今後ともよろしくお願いいたします。(小瀬博之)

埼玉県川の再生交流～流域でつながる 次世代とつなげる～開催



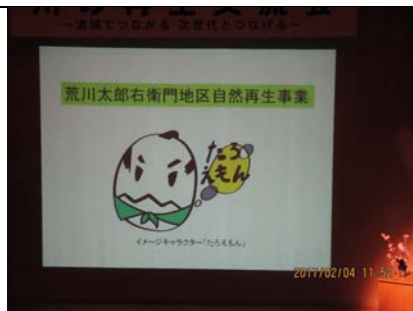
荒川上流河川事務所の事業紹介

2月4日(土)10:30より、さいたま市民会館うらわで、埼玉県主催、埼玉県河川環境団体連絡協議会の協力で、県内各地からの関係者の参加で「2017川の再生交流会」が開かれました。

「川の国応援団」の登録団体である県立松山女子高校音楽部のコーラスで幕を開けました。川の国埼玉宣言は、芝川の生物調査をした栄東高等学校理科研究部の生徒らが行い、引き続いて研究の成果が発表されました。

汚れが酷い芝川の清流復活のために、地元住民の意識調査も行いながら、水質検査、清掃で集めたごみの分析まで、先輩らの協力を得ながらの調査発表に、大きな拍手が送られました。

続いて、「川の再生事業」「川のまるごと再生事業」のまとめと今後の展望が、県の水辺再生



荒川の自然を守る会の発表

課と埼河連の共同で発表されました。また、川越市に事務所のある荒川上流河川事務所の河川環境課長の事業紹介、荒川の自然を守る会の活動発表がありました。

三ツ又沼ビオトープや荒川太郎右衛門地区は、川越市民も関心を持ちたい場所でした。

7分科会に分かれて交流が深められました。川越関係者は、第4分科会の「新河岸川流域分科会」と第5分科会の「不老川流域分科会」に分かれて参加しました。

それぞれの流域の市民と環境団体の発表と意見交換が行われました。なお、当日参加の人らに「川の国応援団」と書かれた青色のジャンパーが配られました。今まで配られた青い帽子とともに、活動の制服が揃いました。(武田侃蔵)



新河岸川の分科会発表

新河岸川流域川づくり連絡会「川でつながる発表会」和光で



白子川の湧く湧くパーク見学

2月12日(日)、新河岸川流域川づくり連絡会主催で、12回目の「川でつながる発表会」が和光市立第三小学校で開かれました。

この発表会の9回目は、川越市の仙波小学校で開かれました。今回は、湧水の豊かな和光市内の見学と合わせ、川越市の福原中学校の深見さんの不老川の水質調査の発表もありました。



深見さんの不老川の発表

和光市は、武蔵野台地の底を流れる多摩地下水脈の東端で、今でも湧水が出ています。しかし、最初に見学した熊野神社の池は溜まり水のようになり、名物の不動の滝も枯れていました。年ごとに湧水の量と場所が少なくなっていました。最後の見学地の白子川の湧く湧くパークは調節池を兼ねた総合治水事業で、芝生の遊びと



中央が福原中学校の深見さん

水辺の遊水地として、今後の整備が待たれます。

午後は体育館で、自由学園高等科、狭山市立御狩場小学校、地元の和光市立第三小学校と第五小学校の生徒らの研究発表がありました。

この2番目に、川越市立福原中学校の深見さんが「不老川はきれいかな？」と題して、1年ごとにきれいになった不老川の現状を報告しました。また、法政大学水文地理学研究室の「身

近な水環境の一斉調査の水質分析から見た新河岸川流域の地域特性」と題して、豊富なデータで興味深い報告がありました。流域の都市化と下水処理場の排水温度の上昇傾向や、東京湾からの満潮時の影響などの話題も出ました。コメントータとの質疑の中から、川への熱意が感じられた有意義な発表会でした。

(武田侃蔵)

【報告】理事会・専門委員会

理事会・事業運営委員会

2月15日(水)、第10回事業運営委員会を13:00-14:30に、第11回理事会を14:30-16:30ごろに川越市役所分室B会議室で開催しました。主な議事は次のとおりです。

①「水辺と川の小委員会」を事業運営委員会の傘下に置いていますが、本会の役割にうまく結びつかない面もあるので、組織の再検討を行います。

②2月25日開催の「第15回かわごえ環境フォーラム」について、スケジュール、準備物、キャスト

ィング、来賓・講師対応などを検討しました。

③次年度の全体事業について検討を行いました。3月に各専門委員会の事業を合わせて、4月の理事会で具体的に事業計画を立てていきます。

④会則第6条第6項の改正について提案があり、提案の通り改正を承認しました。会則の改正は総会での審議事項となります。(小瀬博之)

社会環境部会

2月例会は、2月10日(金)福田ビル3階会議室において9名の出席のもとで開催されました。

1.報告事項

部会代表から、1月の理事会においてかわごえ環境フォーラムの役割分担、環境行動計画原案の了解、川越市環境審議会委員の推薦、会則の一部改正等について協議、決定したことが報告されました。

2.協議事項

次の各活動について協議しました。

①かわごえ環境フォーラムにおける部会メンバ

ーの役割分担を確認しました。新たに午後の部の記録を武田さんが担当することが決まりました。

②次年度の部会活動計画、収支予算、部会進行・コラム記事の投稿カレンダー等の案について協議しました。その際新たに、公民館の環境講座等への講師派遣を検討することが提案され、今後その可能性について検討することとされました。3月例会の進行は板野、「わたしのエコ体験」コラムへの投稿は浜尾さんが当たります。

(報告：浜尾春子、部会代表：板野徹)

◆かわごえ環境ネット会員募集 会員になると、本紙「月刊かわごえ環境ネット」を毎月お送りします。また、委員会活動、研修行事に参加できます。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です(3月中の入会は年度内の会費は免除)。詳細は、かわごえ環境ネット事務局かWebサイト(<http://kawagoekankyo.net>)にて。



自然環境部会

2月例会は10日(金)福田ビル3階にて7名の参加で開催された。

1.活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動
9:30-12:30 1/23(月)13名参加 今年度の予定話し合い、フィールド調査冬芽
- ②池辺公園定例活動 2/7(火) 7名参加 ごみ拾い、キツネノカミソリ周辺保護
- ③キノコ編集会議 1/20(月) 7名参加 南文化会館(ジョイフル) 9:30-12:30
- ④川越市のチョウとトンボ - 2016年の観察結果・・・観察者8名で14か所の定点で740件の観察ができた。

2.協議事項

- ①川越市主催講座「生物多様性講座」協力について3/25(土)水上公園で開催スタッフとして3名協力
- ②川越市の「市民生き物調査」への協力について 指標種説明書の作成など
- ④来年度の自然環境部会事業計画について 定例活動は「(仮称)川越市森林公園」計画地、池辺公園の継続調査活動は昆虫調査とし、トンボ、甲虫などを対象とする。
3月度も引き続き検討する。

(自然環境部会代表 賀登環)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・関連行事

会合

◆広報委員会(2017年3月度)

日時:3月8日(水)9:00-10:00

場所:ウエスタ川越2階市民活動・情報コーナー(川越市新宿町1-17-17)

*次回は4月5日(水)9:00-10:00 同所

●社会環境部会(2017年3月度)

日時:3月10日(金)13:00-15:00

場所:福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)

●自然環境部会(2017年3月度)

日時:3月10日(金)15:00-17:00

場所:福田ビル3階会議室

*両部会とも会員はどなたでも参加できます。

*両部会は、毎月第2金曜日13:00-15:00、15:00-17:00連続開催(次回は4月14日(金)同所)

◆事業運営委員会(2016年度第12回)

日時:3月15日(水)9:00-10:00

場所:福田ビル3階会議室

*次回は4月12日(水)9:00-10:00、同所

◆理事会(2016年度第11回)

日時:3月15日(水)10:00-12:00

場所:福田ビル3階会議室

*次回は4月12日(水)10:00-12:00、同所

社会環境部会主催事業

★緑のカーテン用の苗の無料配布と育て方の説明会

期日:4月20日(木)

パッションフルーツ、アピオス、ゴーヤ等の

苗を予定しており、あらかじめ申し込んだ50名程度の方に配布します。申し込みの方法、会場等の詳細は、広報川越1387号(平成29年3月25日)でお知らせします。

自然環境部会主催事業

★「(仮称)川越市森林公園」計画地 植物調査・保全作業(毎月第2、第4月曜日)

日時:3月13・27日、4月10・24日(月)

集合:9:30 川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)12:30まで

問い合わせ:賀登(Tel.049-234-9366)

★池辺公園定例活動

日時：3月7日・4月4日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★キノコ学習会

日時：3月8・29日（水）13:00-15:30

場所：南文化会館（ジョイフル）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課

問い合わせ（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

◎かわごえの生き物をたずねて

日時：3月25日（土）9:00-12:30

会場：川越水上公園（川越市池辺 880）

定員：先着 30 人

申込：3月1日（水）9:00 から電話にて環境政策課受付

市内の生き物について実地観察と講義。野外活動できる服装でお願いします。

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎自然観察会（公園主催・考える会協力）

期日：3月19日（日）

集合・時間：国営武蔵丘陵森林公園南口（入園後受付）9:50 集合、14:30 頃終了解散

入園料要、昼食持参（レストランもあります）春の野草（スミレの花）や野鳥のさえずりを楽しめます。また水辺の生き物を観察します。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：3月11日・4月8日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2016-2017 年度予定表

月	日	活動内容予定
3	11	雑木林手入れ、あそぼうパン、スープ
4	8	大根畑の片付け他
5	13	枝豆の植え付け他
6	10	人参畑の片付け他
7	8	トウモロコシの収穫作業

みなみかぜ いきいきたんぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、楽しいことうけあいですよ♪ たんぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業

期日：3月3・17・24・31日（金）10:00-12:00（金曜日の午前中）

場所：地域交流センターに集合、農作業は近隣のたんぼ

◎月例会

日時：3月10日（金）10:00-12:00

場所：地域交流センターホール

◎地域交流センター 花のまつり

日時：3月25日（土）10:00-13:00（9:30 から受付）

場所：地域交流センター 和室

たんぼの会のオリエンテーション（活動内容の説明）・会員募集

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel.070-5599-2623)

ホームページ <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬によるお米作りや、生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

◎「生きものを育む田んぼプロジェクト 2017」オリエンテーション

日時：3月4日（土）10:00-12:00

場所：北部地域ふれあいセンター（川越市山田1578-1）

今年の生きものを育む田んぼプロジェクトの進め方や「初雁の里」田んぼ・マコモ田を見学します。

◎有機稲作ポイント研修会（第1回）

期日：3月18日（土）10:00-15:00

場所：北部地域ふれあいセンター

参加費：会員無料／一般 1000円

講師：NPO 法人民間稲作研究所 稲葉光國氏

内容：有機稲作における育苗、水田生物の多様性を活かした抑草技術のポイント、土づくり実

践として、初雁の里水田へ資材散布を行います。

◎例会

日時：3月25日（土）16:00-18:00

場所：名細公民館（川越市小堤 662-1）

無農薬の稲作に興味のある方、生きものに興味のある方など、広く意見を求めるために会員でない方の参加も歓迎します。

公開行事（最新情報・詳細はホームページに掲載）

期日	時間	内容
3/18（土）	10:00-16:00	有機稲作ポイント研修・現場&座学①
4/22（土）	10:00-15:00	有機稲作ポイント研修会・現地②
5/20（土）	10:00-15:00	食べる生きもの調査（植物調査）と野草料理づくり
6/10（土）	10:00-16:00	有機稲作ポイント研修・現場&座学③
6/24（土）	9:30-12:00	田んぼの生きもの調査（動物調査）
7/15（土）	10:00-16:00	有機稲作ポイント研修会・現場&座学④
9/23（土）	9:30-15:00	稲刈り

東洋大学小瀬研究室（総合情報学部ライトアッププロジェクトチーム）

問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

Facebook ページ <https://www.facebook.com/toyosojolightup/>

◎「荒川ライトアップ 2017」出展

日時：3月11日（土）13:30-20:00（ライトアップは 17:30-）

場所：足立区都市農業公園前荒川河川敷（東京都足立区鹿浜 2-44-1 地先）など

詳細は、国土交通省荒川下流河川事務所 (<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00520.html>)

◎世界自閉症啓発デー「Light it up blue 川越」出展

日時：4月2日（日）14:30-19:00（ライトアップ点灯式は 18:00-）

場所：ウエスタ川越

詳細は、主催者 Web サイト (<https://www.liub-kawagoe.com>)

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322)・武田侃蔵 (Tel.090-2521-5770)

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3木曜日

日時：3月7日（火）・16日（木）、4月4日（火）・

20日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：3月12日・4月9日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、

中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：3月25日（土）・4月22日（土）

13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに武田（090-2521-5770）へ

ご連絡ください。

①3月26日（日）9:00-11:00

新河岸川広域景観づくり連絡会との春季一斉清掃活動の一環。野田の起点から養老橋までの、川越市内の新河岸川全域の6か所で実施。多数参加希望。22日までに連絡ください。参加場所相談して割り振ります。

②4月23日（日）9:00-11:00

野田の新河岸川起点から三日月橋まで。八幡橋そばに集合。月吉陸橋下で解散。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウォッチング

（毎月第2日曜日、小雨決行）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや
持ち物：筆記用具・あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・帽子・防寒衣

参加費：一般300円、高校生以下100円（保険代・資料代）

解散：集合場所にて12:00ごろ

①3月12日（日）10:00-12:00

陽の光、鳥に、植物に春を感じます。鳥はさえずり、木や草は芽やつぼみがふくらみ始めました。早い春を楽しみましょう。

②4月9日（日）10:00-12:00

沼からカイツブリのさえずりが、コチドリがペアで鳴きかわして飛びます。桜は満開、春らんまんです。春を満喫してください。

広報委員会からのお知らせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2017年4月号（No.126、4月上旬発行）の掲載原稿は、3月15日（水）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要ですので、未登録の方は事務局にお問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎5階）に提出してください。

●入稿に際してのお願い

編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力

Word形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っただけだと効率的に編集ができません。入用の方は広報委員会にご連絡くださ

い（koho@kawagoekankyo.net）。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800ピクセル」程度にサイズを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Wordに貼り付けずにタイトルがわかるようにしていただければレイアウトします。

⑤原稿の入稿期限（毎月15日）にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。月末発行を行うため、ご協力ください。

●インターネットでの情報発信

1.本紙がカラーで見られます

本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。スマートフォンにも最適化されています。ご覧ください。(http://kawagoekankyo.net)



2. Twitter でかわごえ環境ネットをフォロー

本会 Twitter (@kawagoekankyo) は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。https://twitter.com/kawagoekankyo



3. Facebook ページ「いいね！」してください

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのお知らせだけでなく、メンバー間での情報共有にも活用できます。まずは Facebook に登録していただくだけでもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を。

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet



QR ホームページ Twitter Facebook ページ

●編集後記

「第15回かわごえ環境フォーラム」が終了し、次年度の事業に向けて準備が進められることとなります。新たな「川越市環境行動計画」が川越市と本会との協働で作成され、川越市により策定されました。新たな計画を柱にして、改めて「市民・事業者・民間団体・行政の協働で望ましい環境像の実現をめざす」本会の役割を考えながら事業計画を立てていきたいと思います。ご意見を随時承ります。事務局までお問い合わせください。(こせ)

●おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めています。その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (3月5日~4月26日)

日	月	火	水	木	金	土
3/5	3/6	3/7 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/8 ◆9:00 広報委員会 ★13:00 キノコ学習会	3/9	3/10 ◎10:00 月例会 (みなみかぜ) ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	3/11 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎13:30 荒川ライトアップ2017
3/12 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング ◎13:00 荒川流域再生シンポジウム	3/13 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	3/14	3/15 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ○本紙4月号投稿期限	3/16 ◎13:30 まち美化啓発運動	3/17 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	3/18 ◎10:00 有機稲作ポイント研修会
3/19 ◎9:50 武蔵丘陵森林公園自然観察会	3/20 春分の日	3/21	3/22	3/23	3/24 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	3/25 ◎9:00 かわごえの生き物をたずねて ◎10:00 花のまつり ◎13:30 まち美化啓発活動 ◎16:00 例会 (かわごえ里山イニシアチブ)
3/26 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	3/27 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	3/28	3/29 ★13:00 キノコ学習会	3/30	3/31 ◎10:00 農作業 (みなみかぜ)	4/1
4/2 ◎14:30 Light it up blue 川越	4/3	4/4 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	4/5 ◆9:00 広報委員会	4/6	4/7	4/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
4/9 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	4/10 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	4/11	4/12 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	4/13	4/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	4/15 ○本紙5月号投稿期限
4/16	4/17	4/18	4/19	4/20 ★緑のカーテン苗配布と説明会 ◎13:30 まち美化啓発運動	4/21	4/22 ◎10:00 有機稲作ポイント研修会 ◎13:30 まち美化啓発活動
4/23 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	4/24 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	4/25	4/26 ◆9:00 理事会	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他 詳細は個別の記事をご覧ください		

月刊 かわごえ環境ネット 2017年3月号 No.125

発行日 2017年3月3日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>